

# **取扱説明書** **インバータスタンド Z-3500**

お買い上げいただきありがとうございました。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。なお、この取扱説明書は、大切に保管してください。万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

※ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
 ※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

|           |  |
|-----------|--|
| <b>警告</b> | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。        |
| <b>注意</b> | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

絵表示の例












- 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
- 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## 【安全上のご注意】

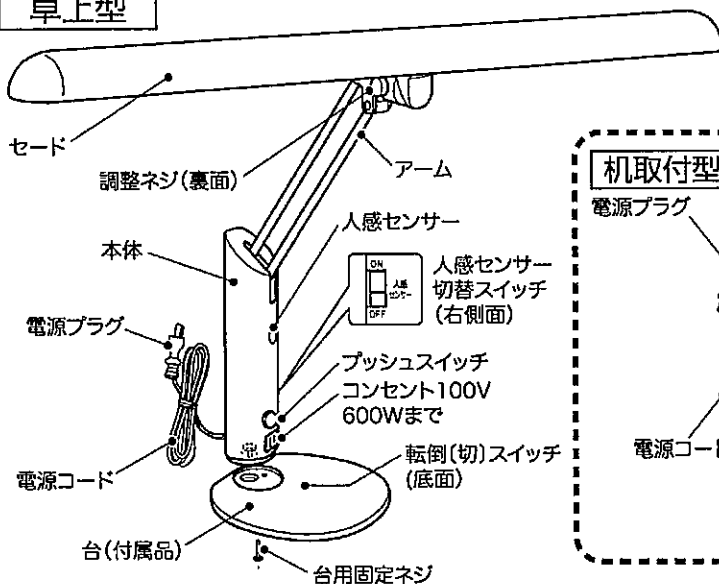
インバータスタンドを正しく安全にお使いいただくために、つぎのことを必ずお守りください。

| <b>警告</b>  |  |
|--|--|
| <div>  <b>禁止</b> </div> 布や紙など燃えやすいものをかぶせたりしないでください。<br>火災の原因となります  | <div>  <b>禁止</b> </div> 交流 100 ボルト以外では使用しないでください。<br>直流や交流 200V を使用すると火災や感電の原因となります          |
| <div>  <b>禁止</b> </div> 不安定な場所や、燃えやすいものの近くで使用しないでください。<br>倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります  | <div>  <b>禁止</b> </div> 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)修理(交換)をご依頼ください。<br>そのまま使用すると、火災・感電の原因となります     |
| <div>  <b>禁止</b> </div> 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。<br>コードが破損し、火災・感電の原因となります | <div>  <b>プラグを抜く</b> </div> 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生したら、速やかに電源プラグを抜いてください。<br>火災・感電の原因となります |
| <div>  <b>禁止</b> </div> 製品のすき間に金属や燃えやすいもの、異物などを差し込まないでください。<br>火災・感電の原因となります   | <div>  <b>分解禁止</b> </div> 修理技術者以外の方は、絶対に製品を分解したり修理・改造は行わないでください。<br>火災・感電によるけがの原因となります      |
| <div>  <b>禁止</b> </div> タコ足配線はしないでください。加熱して、火災の原因となります<br>コンセントは 100V600W(6A)を超えて使用しないでください。<br>加熱して、火災の原因となります                  | <div>  <b>水ぬれ禁止</b> </div> 浴室など、水や湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。<br>この製品は非防水ですので、火災・感電の原因となります      |
| <div>  <b>禁止</b> </div> 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。<br>感電やけがの原因となります  | <div>  <b>プラグを抜く</b> </div> お手入れの際は、水洗いはしないでください。<br>火災・感電の原因となります                          |
| <div>  <b>禁止</b> </div> 幼児の手の届くところで使わないでください。<br>やけど・感電・けがの原因となります   |  |
| <div>  <b>禁止</b> </div> カーテンなどの燃えやすい物の近くで使用しないでください。<br>火災の原因となる場合があります  |  |

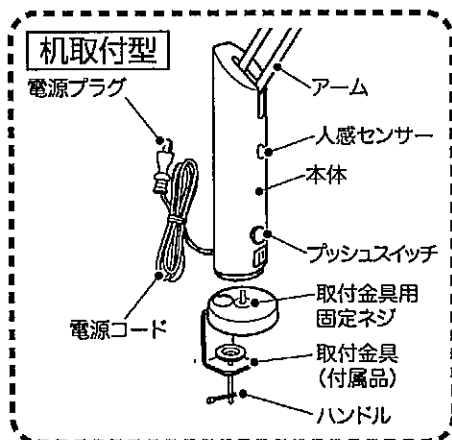
| <b>注意</b>   |   |
|---|---|
| <div>  <b>禁止</b> </div> 点灯中および消灯直後 5 分以内は、ランプおよびその周辺をさわらないでください。<br>ランプおよびその周辺が加熱しており、やけどの原因となります | <div>  <b>禁止</b> </div> コードは余裕をみて使用してください。<br>コードを引っ張るとコードを傷め、ショートによる火災や感電事故の原因となることがあります              |
| <div>  <b>禁止</b> </div> 高温な場所や暖房器具などの前で使用しないでください。<br>火災の原因となります                                  | <div>  <b>プラグを抜く</b> </div> 電源プラグはまっすぐに奥まで差し込んでください。<br>差し込みがゆるかったり、コンセントとの間にホコリや水分が付着すると火災・感電の原因となります |
| <div>  <b>禁止</b> </div> ランプを強くねじったり、不用意に割らないでください。<br>けがの原因となります                                  | <div>  <b>プラグを抜く</b> </div> 電源コードを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。<br>コードが損傷して、火災・感電の原因となります                  |
| <div>  <b>禁止</b> </div> ランプに塗料など塗ったり、可燃性スプレーをかけないでください。<br>破損や変質・けがや火災の原因となります                    | <div>  <b>プラグを抜く</b> </div> ランプ交換・お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。<br>感電の原因となります                          |
| <div>  <b>禁止</b> </div> 使用済みランプは不用意に割らないでください。<br>けがの原因となります                                      | <div>  <b>プラグを抜く</b> </div> 長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。<br>絶縁劣化により感電・火災の原因となります                   |
| <div>  <b>禁止</b> </div> 調光器との併用はしないでください。<br>火災の原因となります   |   |

## 各部の名称と使いかた

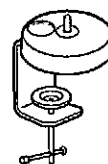
### 卓上型



### 机取付型



### 付 属 品



#### 取付金具

※使用の際は、本体に取付けてある台用固定ネジを取外してから取付け金具を取付けてください。

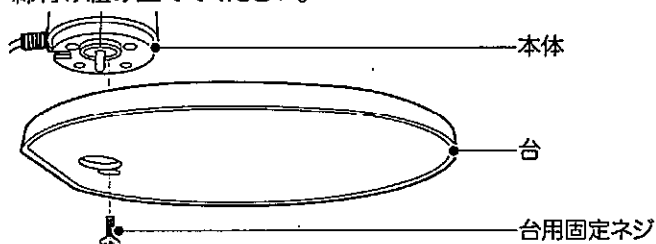
### ネ ジ

#### 台用固定ネジ

※本体にセットしてあります。固定ネジを取外してから台をセットし固定ネジで取付けてください。

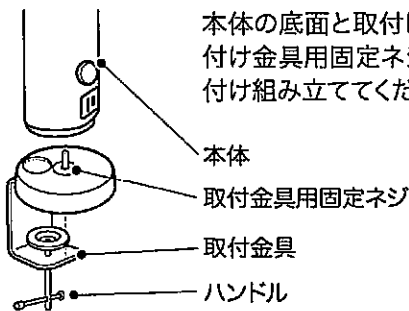
### 卓上型の組み立てかた

本体の底面と台を合わせ、台用固定ネジをコインなどで締付け組み立ててください。

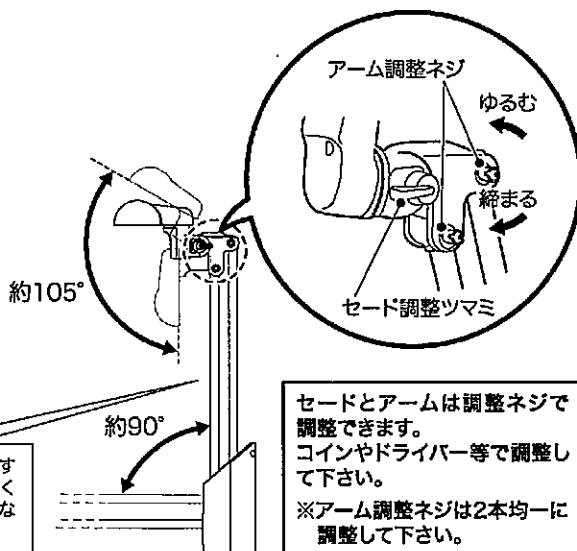
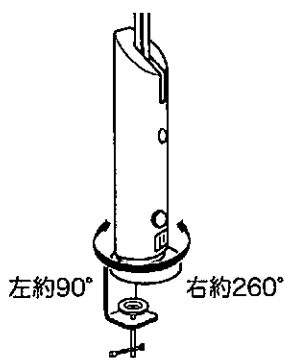
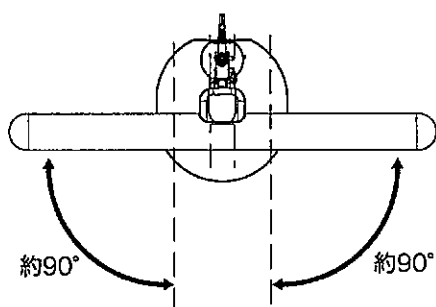
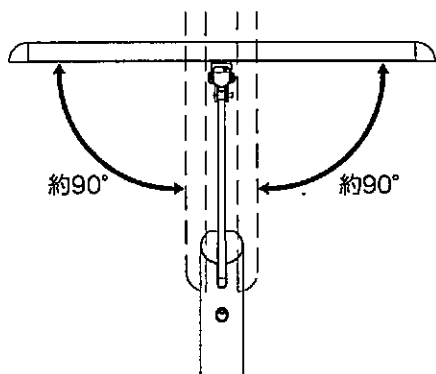


### 机取付型の組み立てかた

本体の底面と取付け金具を合わせ、取付け金具用固定ネジをコインなどで締付け組み立ててください。



## セードとアームの可動範囲と使用上の注意



セードとアームは調整ネジで調整できます。コインやドライバー等で調整して下さい。  
※アーム調整ネジは2本均一に調整して下さい。

#### △ 注意

- アームの間、可動部のすき間に指を入れないでください。けがの原因となります。
- アームに無理な力を加えないでください。破壊して感電・火災の原因となります。

#### △ 注意

- 調整ネジは締め過ぎないで下さい。破壊の恐れがあります。

#### △ 警告

- 転倒(切)スイッチをテープなどで固定しないでください。倒れたとき、火災の原因となります。

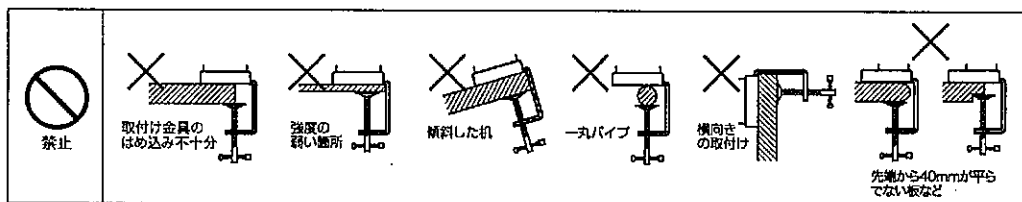
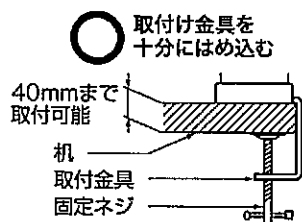
#### △ 注意

- じゅうたんなどのやわらかい表面や不安定な場所に置いて使用しますと、転倒(切)スイッチの動作により点灯しないことがあります。安定した場所に設置してください。
- リモコンで動作する機器の近くで、このスタンドを使用しますと誤動作する場合があります。このような場合は、正常に動作する場所まで離してご使用ください。
- 近くでテレビ・ラジオ・携帯電話などを使用されますと、雑音が入る場合があります。その時は、製品をテレビ・ラジオ・携帯電話などから遠ざけるかまたは、テレビ・ラジオ・携帯電話などの向きを変えてください。

## 器具の取付けかた

※机取付型の場合

- 取付け金具を机等に十分にはめ込んで確実に取付けてください。(取付け金具は厚さ40mmまで取付け可能です。)又、強度の弱い箇所(しなる、曲がる、反る)には取付けしないでください。はめ込み及び固定ネジの締め付けが不十分な場合、ガタツキ、倒れ等の原因になります。尚、安全のため取付け後可動させてゆるみがないか、ガタツキがないか再確認をしてください。傾斜した机等に取付けますと正常な可動ができません。水平な机等に取付けてください。

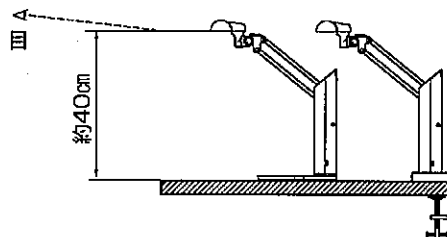


## 上手な使いかた

- アームはお好みの角度に調節してください。アームは可動範囲内での角度でもとまります。
- アームの推奨可動範囲は垂直から前方へ約90°です。無理に動かしたり、ねじったりすると故障の原因になります。
- 各可動部は可動範囲以上に動かすと、破損の原因となりますのでおやめください。

目の疲れを少なくするため、次のようにしてご使用ください。

- セードは下向きにしてランプが目に入らない状態でご使用ください。
- 室内照明とスタンドを併用してご使用ください。
- 手もとを明るくご使用していただくために、右ききの方は左または左斜め前方に、左ききの方は右または右斜め前方に置いてください。



## 人感センサーについて

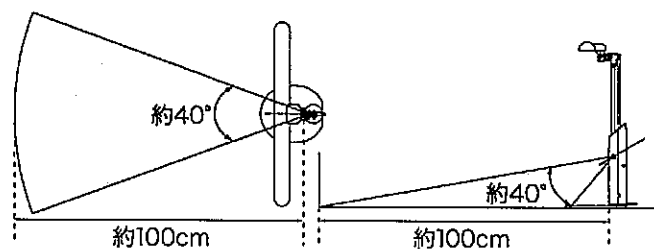
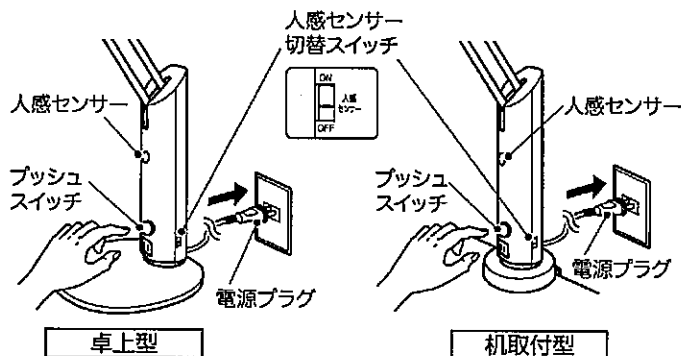
- お願い
- リモコンで動作する機器の近くで、このスタンドを使用しますと誤動作する場合があります。このような場合は、正常に動作する場所まで離れてご使用ください。
  - この製品の近くでテレビやラジオおよび携帯電話を使用されますと、雑音が入る場合がありますのでご注意ください。

- 人感センサーの感知範囲は照明器具前面約100cm、角度は40度です。
- 人感センサーの前に障害物があると感知せず正常に動作しないことがありますので、障害物を取り除いてください。
- 人感センサーは感知範囲内に人がいても動かずにじっとしていると約5分後に消灯しますので、手を動かすなどして再度感知させてください。
- 人体以外の熱源が感知範囲内で移動しても感知して点灯します。
- 使用環境(温度・湿度等)やセンサーを遮る物や人によって感知範囲に変化が生じる場合があります。
- 使用環境温度と人体との温度差が大きい場合、感知範囲以外で感知するエリアが存在することがあります。

## 点灯・消灯のしかた

1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
2. 本体部のプッシュスイッチを押すと点灯 (ON) します。再度押すと消灯 (OFF) します。

人感センサーがONの場合は、人感センサー感知範囲から離れて約5分経つと自動的に消灯します。(自動消灯前に人感センサー感知範囲に入りますとタイマーはリセットされます)



- 人感センサーを正しく動作させるために以下のような場所への設置は避けてください。誤動作の原因となります。
  - ・強い電波を発する製品のそば
  - ・前方にガラスなどの障害物がある場所
  - ・エアコンのそばなど温度変化の激しい場所

△注意 人感センサー動作による消灯の場合、照明器具は消灯していても常に待機電流が流れておりますので、使用しない場合には必ず本体部のプッシュスイッチを押して電源を消灯(OFF)してください。

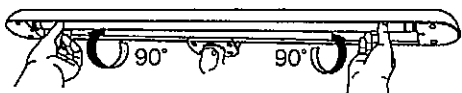
## ランプ交換のしかた



- ランプ交換の際は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。感電の原因となります。
- 点灯中や消灯直後のランプおよびその周辺をさわらないでください。ランプおよびその周辺が加熱しており、やけどの原因となります。

### ■ランプの取外し

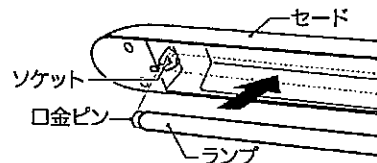
下図のようにランプ両側に指をあて、矢印の方向へ約90°回転させてはずします。はずれたとき、ランプを落とさないよう注意してください。



### ■ランプの取付け

右図のように、ランプの口金ピンをソケットに差し込み、90°回転させると取付きます。ランプが黒化して明るさが低下したらランプの寿命です。市販の蛍光ランプFHF-24(タイプ)をお求めください。

お願い: ランプ交換のとき、ソケットを強くねじらないでください。破損の原因になります。



## お手入れと保管

### △注意

●お手入れの際は必ず電源プラグを抜いてから行ってください。

- 明るく安全にご使用していただくために定期的に掃除・点検してください。(6ヶ月に1回程度)
- 汚れは、ぬるま湯か中性洗剤をうすめて浸した柔らかい布をかたくしぼってふき、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないようにふき取ってください。
- ランプをはずして、シェードの内側とランプの汚れも拭き取ります。

〈保管〉●包装ケースに納めるか、ポリ袋をかぶせ、湿気の少ないところに保管してください。

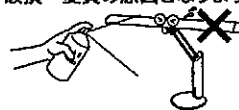
## お願い

●お手入れには、中性洗剤をうすめて使用してください。シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし類は使用しないでください。破損・変質の原因となります。



●化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。

●スプレーをかけないでください。〈掃除用・殺虫剤・整髪料など〉破損・変質の原因となります。



●高温(40℃以上)の所や常に薬品、油などを使用する場所では使用しないでください。プラスチック部分が破損・変質する原因となります。

## 故障かな?と思ったら 次の点検を行ってください。

| 症状             | 原因               | 処置               |
|----------------|------------------|------------------|
| 点灯しない          | 電源プラグが抜けている      | プラグをコンセントに差し込む   |
|                | ランプが切れている        | 新しいランプと交換する      |
| 人感センサーが反応しない   | 人感センサーの前に障害物がある  | 障害物を取り除いてください    |
|                | 切替スイッチがOFFになっている | 切替スイッチをONにしてください |
| 点灯後、数分でランプが消える | ランプの寿命           | 新しいランプと交換する      |

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店または、最寄の支社・営業所・カスタマーセンターまでご連絡ください。

長年ご使用の照明器具はよく点検をお願いします。

|                    |   |             |   |
|--------------------|---|-------------|---|
| ★<br>こんな症状はありませんか? | <ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コード、プラグが異常に熱い。</li> <li>●電源コード、プラグに深い傷や変形がある。</li> <li>●コゲくさい臭いがする。</li> <li>●ランプを取りかえても、正常に点灯しない。</li> <li>●器具に触れるとビリビリと電気を感ずる。</li> <li>●その他の異常や故障がある。</li> </ul> | ★<br>異常があれば | <p>ご使用中止!!</p> <p>故障や事故防止のため電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。</p> |
|--------------------|---|-------------|---|

## 仕様

|         | 電圧   | 周波数       | 消費電力 | 全光束    | 効率       | 質量    | 使用ランプ      |
|---------|------|-----------|------|--------|----------|-------|------------|
| 卓上タイプ   | 100V | 50/60Hz共用 | 23W  | 1680lm | 73.0lm/W | 1.6kg | FHF24 S.EN |
| クランプタイプ |      |           |      |        |          | 1.1kg |            |